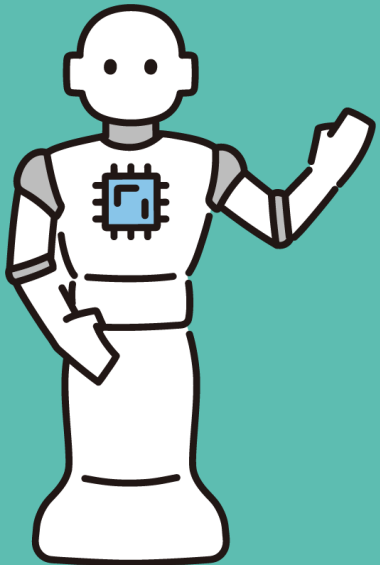


生成系AI利用ガイドライン

聖学院大学



■はじめに

このガイドラインは聖学院大学が定める学生および教職員を対象とした、生成系AI利用に関するガイドラインです。

生成系AIは、大きな生産性をもたらす可能性を秘めていますが、その反面無意識に危険な領域にも踏み込んでしまう恐れもあるため、利用方法の理解が重要になります。

生成系AIを、安心安全に利用するために、ぜひご一読ください。

なお、このガイドラインは広島AIプロセス※1に基づくルールや文部科学省の回答、その他委員会からのガイドライン等を参考に、適宜見直しを行っていきます。

※1

広島AIプロセスは、2023年5月に開催されたG7広島サミットの結果を踏まえ、G7メンバー及び関係国際機関が参加して、その急速な発展と普及が国際社会全体の重要な課題となっている生成AIについて議論するために、2023年5月に立ち上がりました。今般、本プロセスの中間的な成果のとりまとめに向けて、これまでのG7の作業部会での議論も踏まえ、デジタル分野の担当閣僚間で議論を行われた結果、本会合の成果物として、「G7広島AIプロセス G7デジタル・技術閣僚声明」が発出されました。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

版数	日時	コメント
1.0	2023/10/04	
1.1	2023/11/17	文言の修正など
1.2	2024/02/27	文言の追加、誤字脱字修正など
1.3	2024/03/05	文言の追加、誤字脱字修正など



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

目次

1. 生成系AIとは？
2. 大学のルール
3. 生成系AIを活用するためのポイント
4. 生成系AIの今後の展望



Love God and Serve His People

聖学院大学

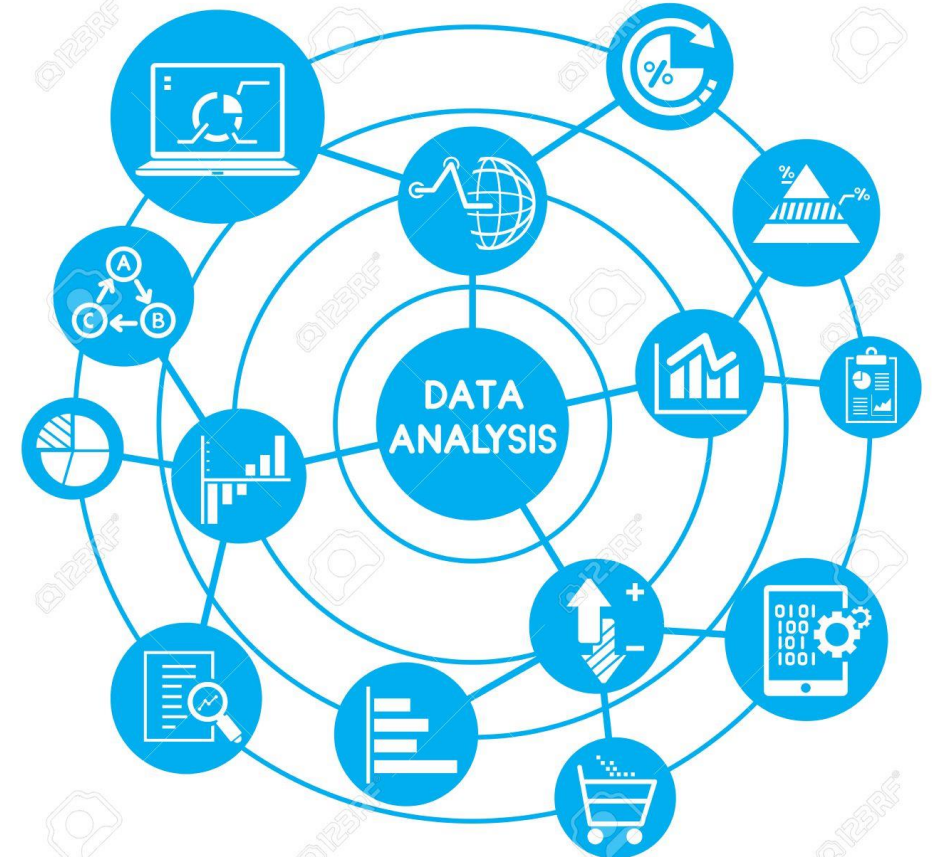
一人を愛し、一人を育む。

1. 生成系AIとは？

ChatGPTやBingChatなど生成系AIと呼ばれるツールは、大きなデータの集まり（ビッグデータ）から、尋ねられたことに対して、

【人とのやり取りをしているかのように新しいデータを生成して、扱うデータはテキスト・画像・動画・音声など多岐にわたる返答をしてくれる】

人工知能ツールの1つです。



Love God and Serve His People

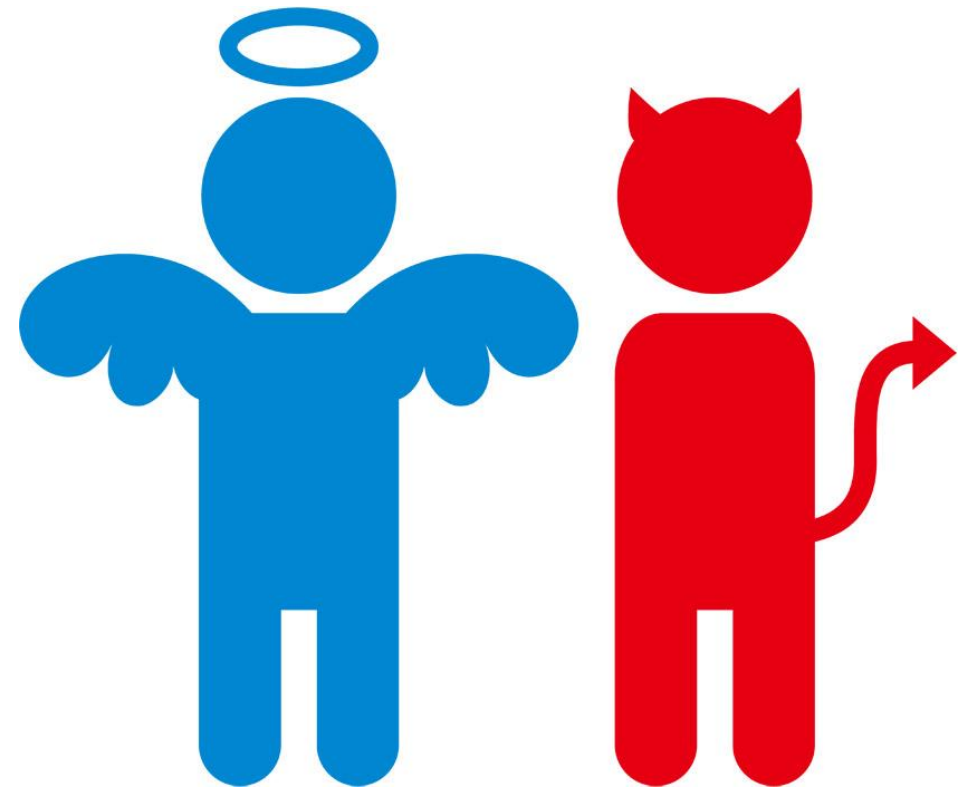
聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

1. 生成系AIとは？

GoogleやBingで検索して情報を探し出すよりも、生成系AIで会話するようにチャットで質問すると、詳細に情報提供してくれたり、文書等の添削をしてくれるなど、作業を効率化するには便利なツールですが、情報漏洩や著作権侵害、間違った情報を提供されてしまうなどのリスクもあります。

利便性と危険性が表裏一体であるツールだということを理解することが大切です。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール



聖学院大学として、以下の4項目をルールとして定めます。

それぞれの状況により、利用にあたっては指導教員や上長等の指示を仰いでください。

またこのルールは、利用を制限するためのものではなく、
トラブルを回避するためのものになります。

- ①生成系AIから提供された内容を鵜呑みにしない
- ②個人情報、秘密及び機密の内容については入力しない
- ③提供された情報をレポート等にそのまま利用しない
- ④著作権に留意する



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その1

①生成系AIから提供された内容を鵜呑みにしない

生成系AIはそのビッグデータから質問に対する答えを導きますが、必ずしも正しいものとは限りません。

人間と違い、言い淀むということがないので、あたかも間違いのない情報のように見えますが、間違っていることも正しいことのように伝えてきます。

ゆえに、【導かれた内容を鵜呑みにしないで信頼できる複数の情報源で確認する】ということが大切です。

生成系AIへ課題に関する具体的な回答を求めるのではなく、プレゼンテーションとしての方法などについて聞くことは、一意見として参考にすることが出来ます。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その1

★活用事例：プレゼン方法を生成系AIに聞いてみる

◎良い例：

説得力のあるプレゼンをするためのアドバイスをください。

YES!

⇒プレゼンに対する一般的なアドバイスが箇条書きで提供され、その後、プレゼン方法検討の際の参考にする。

×悪い例：

〇〇の小説についてプレゼンするため、概要を教えてください。

NO!

⇒概要の内容がすべてが正しいとは限らない。また同じことを改めて聞くと、違う情報が提供されてしまうことがある。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その2

②個人情報、秘密及び機密の内容は入力しない

生成系AIのサービスによっては、入力されたデータを生成系AIに学習させる仕組みを導入している場合があります。入力データを記憶させない仕組み(オプトアウトなど)を利用すること出来ますが、それを利用していても、個人情報、秘密及び機密情報を外部サービスへ入力しないようにしてください。

場合によっては、情報漏洩につながることで、大学の罰則に触れてしまうことにもなりかねません。

情報の内容については、以下のURL先にある【聖学院情報セキュリティ基本方針】の3. 適用範囲・適用者をご確認ください。

https://www.seigakuin.jp/about/policies/compliance/comp_04/



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その2

★活用事例：メールの対応について生成系AIに聞いてみる

◎良い例：

(背景を少し説明しつつ) メール返信で、相手を不快にさせないようにするには？
⇒ポイントを箇条書きで提供してくれるため、参考にしやすい。

YES!

×悪い例：

(メール内容そのままコピー&ペースト) このメールに対して返信を考えてほしい。

NO!

⇒そのメールの中に個人情報などがあった場合は、
情報漏洩につながる可能性がある。
また、文面に関しても解釈が違うことがあり、
最終的に自身で書き直すことが多い。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その3

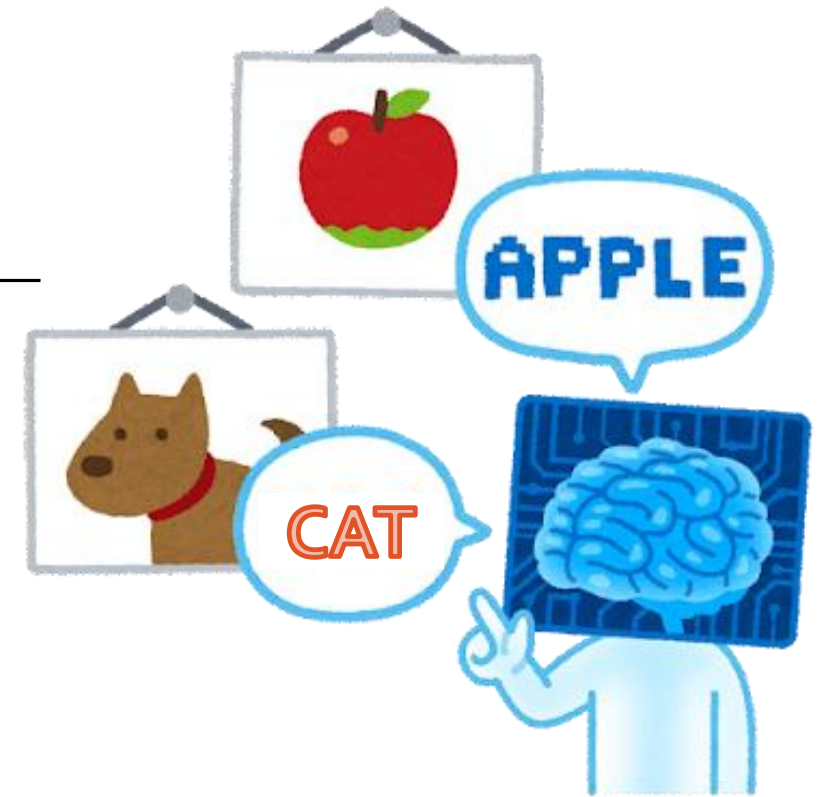
③提供された情報をそのまま利用しない

生成系AIを利用して得た情報は、**確証とはなりません。**
あくまで参考です。

そのため、課題レポートや各種書類、論文などへ
生成系AIからの引用及び抜粋は適切ではありません。

情報源や根拠をしっかりと確認するようにしましょう。

また、プログラムなどのコードを生成した場合、
必ずしも正しいコードとは限らないため、
見直す必要があります。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その3

★活用事例：さいたま市について生成系AIに聞いてみる

◎良い例：

さいたま市の良いところを教えてください。

YES!

⇒レポートなどを書くための参考になる情報を得られる。

×悪い例：

レポートを書くために、さいたま市の平成の出来事の年表を作ってください。

NO!

⇒史実や歴史などをまとめさせようとすると、

事実と異なることが含まれる可能性があるため有効ではない。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その4

④著作権に留意する

すでにあるものに、類似もしくは同一の内容や構図を生成系AIで作成して配布や公表した場合、著作権侵害に当たる可能性があります。

元が自分自身の著作物であっても、出典を示す必要があります。作成した物を公開する際には十分注意してください。

詳しくは文化庁の資料をご確認ください。

令和5年度 著作権セミナー

AIと著作権

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/pdf/93903601_01



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

2. 大学のルール その4

★活用事例：小説の書き方を生成系AIに聞いてみる

◎良い例：

〇〇先生の代表作のような小説を書きたいので、アドバイスをください。

YES!

⇒その代表作のポイントを箇条書きにして提供してくれるので、参考になる。

×悪い例：

〇〇先生風にこの小説を書き直してください。

NO!

⇒依拠性がある生成物を公開及び配布すると著作権法違反になってしまう可能性がある。



Love God and Serve His People

聖学院大学

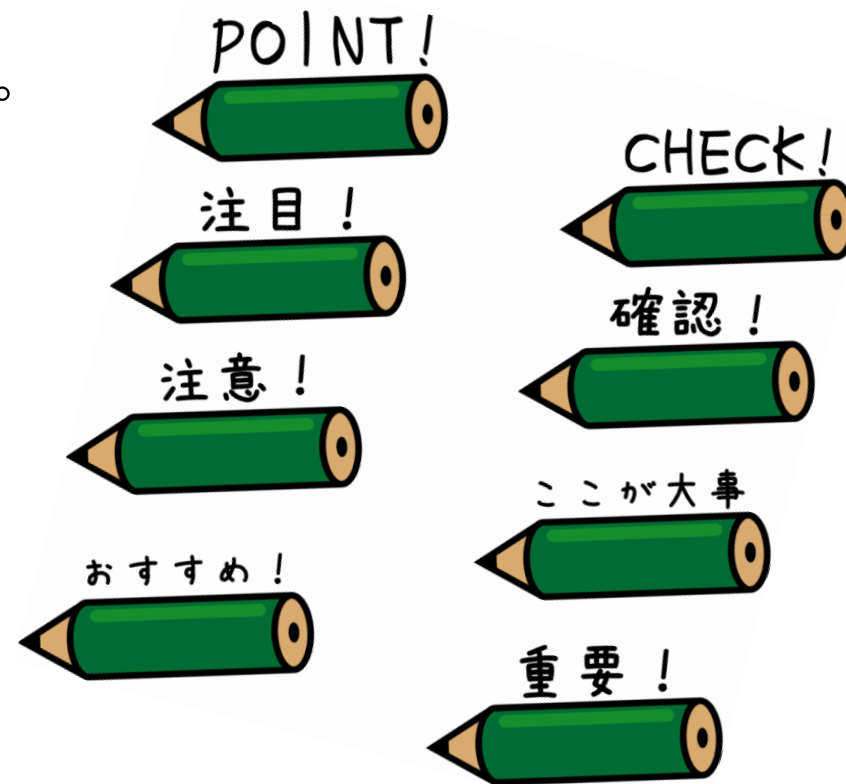
一人を愛し、一人を育む。

3. 生成系AI活用のポイント

生成系AIを使いこなすためにはいくつかポイントがあります。

- ① 立場と知りたい情報を明確に伝える
- ② 場面や状況を指定する
- ③ 表現を指定する
- ④ 複数回尋ねる

入力する内容によって、生成系AIが提供する情報は変わります。
専門用語を減らし、上記4つのポイントを意識して入力することで、
必要とする情報が伝わりやすくかみ砕かれた内容で提供されやすくなります。



3. 生成系AI活用のポイント

①情報を得たい立場を伝える

例：私は大学生です。

私は大学の教職員です。

私は〇〇の初心者orプロです。

あなたは〇〇のプロとして教えてください。



②場面や状況を伝える

例：生成系AIのためのガイドラインを作成したい。

この文章に対する概要を作成したい。

様々な年代がいる中で対応しなければならない。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

3. 生成系AI活用のポイント

③表現を指定する

例：箇条書きで書いてください。

英語で書いてください。

800字以内で書いてください。

④複数回尋ねる

例：提供された〇〇の情報をより詳しく説明してほしい。

提供された〇〇の説明が難しいので、もっと易しく！



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

4. 生成系AIの今後の展望

聖学院大学では、生成系AIの活用を促したいと考えていますが、はじめに書いた通り、**利便性と危険性は表裏一体**です。

学生及び教職員の方々は、その点を十分理解して活用してください。

そのためにも**生成系AIの社会的な動向を注視する、大学から提供される情報を逃さないようにするなど、情報のアップデートを怠らないようにしてください。**

広島AIプロセスをはじめ、内閣府、文部科学省の動きを意識することは、今後も重要になります。ルールの変更を余儀なくされる場合もありますが、大学の方針としては

【安心安全に利用する】ということに変わりはありません。

それらに基づいて、より良い活用が出来るよう情報提供をしていきます。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。